

**4期16年が終了!そして新たな決意で!
新しい時代に新しい仕組みへ!**

**テラス沼田を
文字通りコミュニティの拠点として
骨の髄まで利活用**



庁舎の危険回避策、街なかの「西の核」の基盤が、出来ました。今後は、この施設の管理運営費の効率化と経済的価値以外の付加価値としての賑わいやコミュニティの高揚に努力していきます。

この施設と街なか再生こそ「アベノミクス」のトリクルダウンのシャワー効果を促していきたいと考えています。

健康・飲食・情報をキーワードに、100%テラス活用へ引き続き取り組む考えです。

**超高齢社会へ向けた
公共交通政策の具体化へ
移動支援と移動販売推進を!**



平成16年からデマンド交通などの新しい交通システムを提案し続けてきています。

この間も失礼ながら手直し程度の「改善策」は実施しているものの、今回の「バス路線の見直し」も、その域を出ていないと感じています。

日中の移動支援は「通院対策」と目的を明確にして、熱意と誠意で「住民と事業者」にアプローチしていかなければならないと考えます。

一方、買い物の支援では「とくし丸」方式を参考に「移動販売」を訴え続けています。

通学用のスクールバスや日中動いている「クルマ」を柔軟な発想と丁寧な検討で、超高齢な山間部の生活支援の推進へ向けて、新たな仕組み作りへ一歩踏み出したいと考えています。

**新しい仕組み＝社会的価値創造で
フードバンクをはじめとした
社会的格差緩和政策を!**



水の浄化という環境問題と家庭生活をつなぐ「橋渡し」として、食用油の回収を行政の協力を経て、継続してきました。

現在では、あおぞら作業所の皆さんの「就労訓練」として引き継いでもらっています。

今年から、沼田市や社会福祉協議会の理解を得て「フードバンク」事業を支援していこうと考えています。

まだ食べられる食品が、不足して困っているところに届かないまま廃棄される悲しい事態の改善のため、また、社会的困窮者の方々の支援として「子ども食堂」などと連携して、新しい社会の仕組みづくりにチャレンジしていきたいと考えています。

**特別支援学校高等部+福祉ショップ・カフェで
障がい児・者と家族のための
就労と生活支援に努力傾注!**



長寿は一般的に喜ばしいことです。しかし、障がいのある子どもを持つ親にとって「親亡き後」の心配の種は、なくなるどころか増大の一方と感じています。

利根沼田の社会福祉法人の方々や福祉関係の皆さんのおかげで、特別支援学校高等部や福祉ショップ・カフェの設置も成され、この間も改善はされてきています。

しかし、まだまだ、量・質ともに課題を抱えているのが現状です。自戒を込めつつ、新たなスタートと位置づけて就労と居住含めた生活支援と向き合っていこうと考えています。

明日の沼田を前向きに考える情報誌

歩む会ニュース

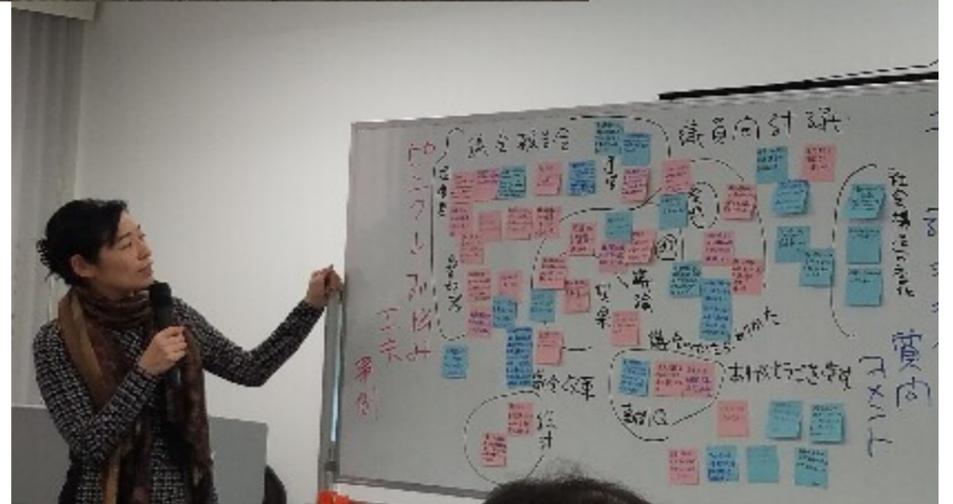
発行責任者 高柳勝巳 〒378-0055 沼田市柳町2583-8 ルピナス103号 ☎ 25-8062
ホームページ <http://www.ayumu-kai.jp/> Eメール xx.takayanagi-po@au.wakwak.com



←目黒区民センター
ここは、(株)ミズノが指定管理となって、プールを含めた、スポーツ施設の管理運営をしています。
沼田市でも5月からテラス沼田7階のトレーニングプラザの運営を委ねる予定なので、現場の生の声が聞けて、大変参考になりました。

「議会の活性化と議員定数と報酬」について龍谷大学の教授の土山氏の実践的授業を受けてきました。

3月にも「適正な議員定数を考える」とした明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科講師の廣瀬和彦氏のセミナー参加し、「市民から理解され信頼される議会」を学ぶことができました。→



61号の概要

- 私の一般質問
 - 供用開始となるテラス沼田について
 - 運営管理費の推計と今後について
 - 街なか再生との関連について
 - 特に1階と7階の利活用方法について
- 私の平成31年度予算への質疑について
 - 市内の体育施設の利用と維持管理費
 - 市営住宅管理と新たな改修工事費
 - いじめ・部活問題、歯科医師による虐待察知
- 4期16年の活動を踏まえた今後について

3月議会 私の平成31年度 予算審査での質疑

スポーツ振興課

体育施設使用料

収入総額=861万3千円

体育施設の維持管理費

支出総額=約1億8,560万円

質疑の趣旨 沼田市が管理している体育施設は全部で21施設で、旧沼田市のものが9施設、白沢町1、利根町11です。これらの合計使用料収入予算額=8,613万円です。

内訳は市民体育館400万円、市民プール300万円で、残りの19施設合わせて約160万円で、低廉な料金で市民のスポーツを通じた健康づくりなどに、繋げてきています。

多くの方々にキチンと利用されている施設も存在する一方で、利活用状況や維持管理方法を見直していかなくてはならない施設も、存在しているようです。

旧沼田市社会体育施設管理費 6,442万7千円

白沢町社会体育施設管理費 313万2千円

利根町社会体育施設管理費 3,065万1千円

(土地借上料=654万8千円 光熱費=830万8千円)

建築住宅課

市営住宅管理事業・維持補修事業

2,815万3千円・3億1,507万5千円

質疑の趣旨 昨年3億5千万円を投じて建設した「多世代共生型住宅」が完成し入居の優先順など抽選方法が、高度化したので、システム使用料が増額したのかと思いましたが、そうではなかったようです。

また、様々な経過があつてのこととは認識していますが、10団地合計で毎年846万円もの「敷地借上げ料」が気になりました。

維持補修事業の方は、長寿命化計画に基づいて、築40年以上経過している栄町の東下原団地の流し台や洗面台、ユニットバスなどの改修工事ということです。



利根大楊
テニスコート
4面
H29利用
10回/年



利根菌原
球技場
H29利用
40回/年



川田運動広場
テニスコート
H29利用
42回/年

施設名	使用料	維持費
市民体育館	400万円	1,654万8千円
市民プール	300万円	2,862万4千円
川田運動広場	1千円	494万3千円
運動公園	5千円	1,059万5千円
ニュースポーツ広場	1千円	181万6千円
新規整備事業	工事費	維持費
利南運動広場	12億685万4千円	? (2千万円)

4月に2名の入居受付した人気の谷地端第二団地



公営住宅の供給数が不足している沼田市で、数年前にやっと実現しましたが、一人親世帯や障害者等の「優先抽選制度」が導入されました。

本年度で沼田市住宅マスタープランが終了年度となっているため、新たな計画には市民生活が、より正確に把握可能な「民生部」に入居選定していくべきとの「思い」も伝えました。

平面駐車場確保 中心市街地事業推進と合わせて努力

答弁 立体駐車場397台に、隣接する平地駐車場の使用を加え、約430台の駐車が可能となります。約100台の市役所本庁舎前駐車場に比べ、駐車スペースも増加することから、日常的な利用には、支障ないものと考えています。

また、駐車場使用者の利便性向上のため、4月以降は、無料駐車とする時間を現行の1時間から2時間に延長します。

下之町駐車場に加え、平地駐車場を望むご意見がありますので、中心市街地における事業を推進する中で引き続き、検討していく考えです。



屋根付き広場 アオーレ長岡の「ナカドマ」

次ページでも一般質問したテラス沼田の1階～2階の吹き抜けは、規模こそ縮小サイズですが、この中土間＝ナカドマが実現しました。

なんと言っても屋外でのイベントで気を揉むのが「天気」関係者の事前の努力も当日の悪天候となってしまうと、本当に残念な状態に…。

上の写真は、屋根付きイベント広場での一幕ですが、良く大きなショッピングモールで、まだ駆け出しの演歌歌手や若手芸人などが、リング箱をステージに熱演している姿を、2階の手すりなどから除いている様子をTV放映されていますが、沼田市でも「全天候型イベント広場」が誕生したと考えてください。そして、多くの市民の広場に育ててください。皆さんの広場です！

利用料金	午前	午後	夜間
防災広場	3,240円	4,320円	3,240円
2階コモンテラス含む	9時～12時	13時～17時	18時～21時

街なか再生事業との一体化は？

質問 5月7日の供用開始によって街なか再生という視点でみると「西の核」が具体化することを意味します。

今後は、この西の核として位置付けることのできるテラス沼田を、文字通りまちづくりの拠点として利活用の企画や実践が求められ、東の「にぎわいの核」との連携策の企画など、都市建設部・街なか対策課を軸としていくと推察しますが、今後これをどのように進めていくのかお聞かせください。

答弁 上之町の「にぎわいの核」において、都市観光施設として「旧土岐邸洋館」の移築工事が始まるなど、劇的に変化をきてきています。

また、歴史資料館が「テラス沼田」2階に設置されることや「やさしさの核」に予定していた都市福利施設が概ね本施設の中に設置されるなど、「テラス沼田」が本町通りにおける西の核施設として機能するものと考えています。

さらに、東の核施設である「にぎわいの核」で、都市観光の拠点としての整備が進捗していることから、都市観光の推進により交流人口の増加に努めていきたいと考えています。

施設名	H30年度維持費/年	今後
本庁舎・北庁舎	4,070万円	0円
東原庁舎	766万2千円	0円
街なか対策課	186万8千円	0円
勤労青少年ホーム	1,544万円	0円
中央公民館	2,073万9千円	
保健福祉センター	3,026万6千円	
合計	1億1,667万5千円	
テラス沼田	1億3,500万0千円	

残り2,000万円程度の努力が
計算の上では、中央公民館と保健福祉センターの利活用方針次第で「帳尻」は見合ってくるものと推察されます。

市内の公共施設は「庁舎」だけではありません。「入るを量りて、出ざるを為す」の気概で継続を望むと、以上のようなデータに基づいて市長に訴えました。